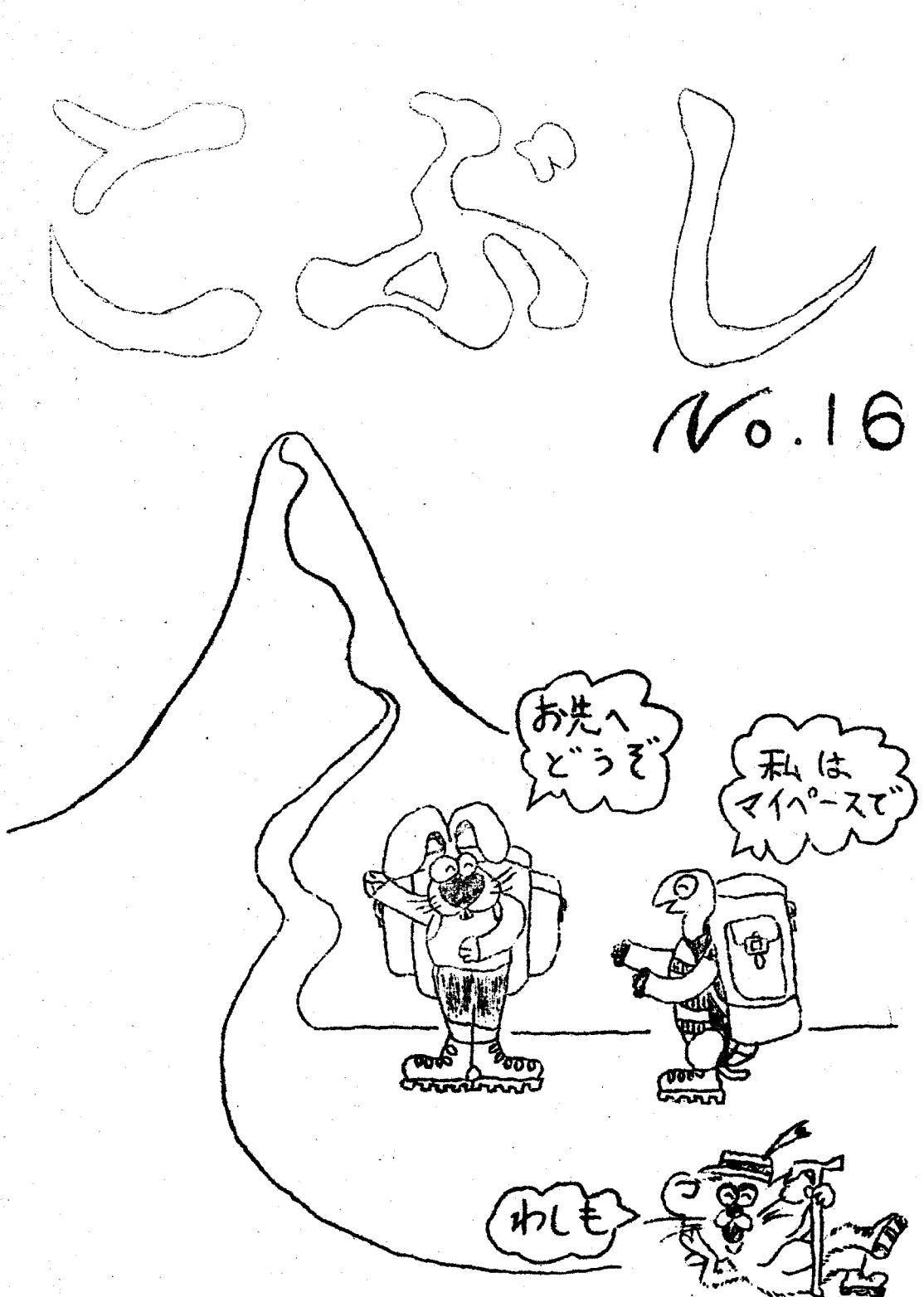


No.16



上越こぶし山の会

上の飛

(種子山記)

一 種子山記は又來る日まで――――――――――――――

前 種子山記
奥古高野

反り見すれば、遠きから――――――――――――

まがたた残るシャンタルム

二 梅印――北橋に纏く雪の峰

△印――まぶたに残る槍ヶ岳

△印――前橋に残る槍ヶ岳の峰

△印――まがたた残る又白池

田 滴落さるは又來る日まで

合 前の事記を以て

返す。又來る日まで

直 橋に残る槍ヶ岳の峰

第一回の事記を以て

直 橋に残る槍ヶ岳の峰

直 橋に残る槍ヶ岳の峰

直 橋に残る槍ヶ岳の峰

事務局大手

次 (P)

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

1 1 1

編集後記

事務局大手

事務局大手

事務局大手

事務局大手

事務局大手

○ 10/27㈯に総会の議事録を作ります。お預かりします。
が、時間のあります人(かり)ましたら、率
々所へ来て、てつだつて下さい。

19年10月白瀧山の別れ山行を計画して
います。場所は雨飾山です。
大きさの分野でメリーハークス。
詳しく述べます。

青園連（青年園林連絡協議会）、新規ニ会員の人に耳を貸さない言葉かとしめなり。

こがし山の会が青園連に加盟して三年目を向えました。青園連とはこのような活動をする人たど、リラクションの会員が一僕自身が青園連の行事や理事会に出席する中で、得たものばかりであります。

青園連は昭和五十一年六月に各サークルでかかえてリる問題などにつりて、ここに集まつたサークル間で助言や援助をしてりく。

。友だちのり友り青年をなくしてリうたれど、いきよう度程のことに仕込まれました。現在の大きな目標は、僕自身が他の地域へいくとりつも思うことだが、宿泊施設の完備された青年力たむの交換できる会館を市に働きかけ作らせていくとリうことだ。

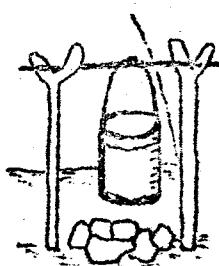
昨年度はレクリーナー講習会、スポーツ友

観念、ヤンケアースティバルと三つの行事がそれましたが当会からは、のべ人数でも十人たずなり参加いたしました。

これでは我々が青園連に加盟するとも確認した。吉園連を例にこがし山の会をより多くの人々に見てもらひ、入念してもらう。そしてナリタクル心仲間を作りしくちが、してリうたす構にて下をじく、リラクションはどうなるのだろうか？

わざか二三人の人の活動、それなりに脱退した方がよりりどせ？こんな気をえ起きたことをある。年齢二十歳の会員、これが有効行使あうでは無りか！

来るヨリ（四）に厚生省民館でスポーツ交観会が行なわれたが、これにはこがし山の会も実際に貢献した。これ。これを機会に、もう一度青園連活動につりて考えてみたうではあるませんか。



樂我記 山日記

☆火打に登って

小山美津子

天に雨が降りました。

私が山でテントをはってキャンプをする時
は、これごろ回連続雨に降られてります。

頂上まで行けたこと食事がよかつたこと

満足して帰ってきました。

春の卒節の前に去年行った妙高へ、ひなた
かりつしかに出かけませんか？



☆三年田の廻山令宿

園由美一

と、女房にび溟激しました。
そして、とつて満足した氣持で殺生木屋
まで歩いた時のことは、一生忘れられまい思
りござりました。

そして、何事もなく無事帰ってこれたこと



☆北鎌尾根から槍ヶ岳へ

上野光枝

今年の夏の合宿で、私は一泊あり、登った
私は今、北鎌から槍の頂上に立つてゐるんだ

一年間、入念一ヶ月、山、山、山、キウキ、胸
ワクワク、ガ、山風のため剣を断念して帰宅。
二年目、はじめて上高地を訪れた時からの憧
れの山が、一豪雨のため稜線が崩れて帰宅。
三年目、日本山山の四年五月、ゲ、またして
も四年四月、五日四日湯沢大雪に奇跡を告げ
り、藻節を断念して帰宅。大部平小屋での徒
歩練との詫びの旅が出来ぬ事あからずですが、皮
肉にも次の日又は晴れ、来年一月はと、今から
チルテン折玉を作つてります。

★表銀コース ハンザーア

山と手 紙切リ 手杖

石田君

3年生一のあいが船橋へ入った。二年の原田君

山と手 紙切リ 手杖

時計、片手に傷が画ります。キャラクターとアヘンで、

山と手 紙切リ 手杖

の前に「不安」を二つ。三つ目は「ハーリー」

山と手 紙切リ 手杖

の「重り事」と「重り事」の「重り事」と「重り事」

山と手 紙切リ 手杖

イの「かせ声」たかき道これ樂一山行ト。

山と手 紙切リ 手杖

ホタホタ落ちてさとうな星達、袁一ゆのへ

山と手 紙切リ 手杖

木こりが山の顎、金こじき木こじき山

山と手 紙切リ 手杖

の邊か、金こじき木こじき山の邊か、金こじき

山と手 紙切リ 手杖

木こじき木こじき山の邊か、金こじき木こじき山



会員近況

MEMO

編集後記

奥山の山行は5月山から

二月の仕事

粗落、久々に山へ

三月一日

二月二十日、がり

切一セーター、

四月四日

二月二十九日

水たとしからの

たくさんの投稿

ます。また、

(記)



Name 杉本

「こぶし」 no 16

発行日 1977年9月26日

発行者 大島美昭

発行 上越こぶし山の会 紙部

上越市本町1丁目4-1

入村方

TEL 0255(25)1385